## 見本頁



A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	車市場は、国産率の工場出荷から権 輸入台数を加えた推定値によると、20	100 POLICE	乗用率が30万台。 から今後も乗用車を	
	となり、2006年の力0万合に比べる		と見込まれる。	
	と。今後も、エネルギー供給の急激な め政策が実施されない限り、国内制		中国で合弁生産拠点 Eメーカーは、価格	
2010年代比如	けて年率15%程度			集由する一方、輸
2012年時は1	.500 万台弱模模	脚单们	<b>万亿</b> 链的	い SUV に集中す
	日本がデータル			in Minterly A Air
ペスが初万	台となっている。ユーの年には		がり、反	る影で需要が
格の上昇が下	常語される中、金融引き納め、原料	用。 定的作伍大	していくと見られる	0
	カー規制の可能性などから伸びす しるが、980万台への拡大が可能で		東市場は、ここ数年 見られるが、社会	
1400	b車販売のうち、輸入規模も、W		放車の重要消費地で	
	た 2001 年の 7 万台から 2007 年に		問題が深刻化すれば	、一部の行政当局
万台と過去	6年間で4.4倍に拡大した。2007	年の 需要抑制強	に踏み切る可能性も	ある。
	【中国、車種別自動車収売・出荷・輸	出入台数(2001—2007年	(2008~2	012年)]
(X6)	◇市場提供◇	(ITW)	○出梅○	
Late	- MAL	1.00		- ts.
1.000	41_/	1,40		112-//
100	151	138	1964)	
900	*2112	)_(MC	REAL PROPERTY.	
1000				
001	1/10	444		200
200		las .		
0E 10		Date of the last	0 4 1 1 1	66 96 10 U 12
	○輸出○		の触入の	
360	17,277	chay 85	1.00.0000000	10227 0
20	一見書)	4		E81.
	7		135.5	
tm -	12-5	/ "		
100	NAMES .	b +1	THE.	
		11		200
**	210	"		8.02
1		1		-
01: 00 3±1) 東京東 13	00 N -00 W -00 W -10 N 10 1	131	31 04 00 00 07 ****:30<35****************	
(株式を )	() () () () () () () () () () () () () (	中型	S-F: N <gvws1n< td=""><td></td></gvws1n<>	
MPV-Mo	A - (Led 表現) th Paryone Volume 学芸田集選集 et Childy Volume	- 8:53	タータ:GPW 5 1 Mt. A: 1 line ( 全部 A: 1 line ( 全部	
	F-日曜型→5分類で DCKAM # 「女気要用車」として分類変更。	65-	<ul><li>※ Timeを要数をlike</li><li>※ ドルペ製品、企長生Tim</li><li>※ 企長生3.5%</li></ul>	
398.40				HUNDAL STEEL AND STEEL AND STEEL STE

「第3章 中国自動車産業の政策動向」より

「第4章 中国自動車市場の成長力」より

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。 お申 し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入 の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.ip) による受付も行っております。

世界自動車産業専門調査会社

〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292 フォーインビル TEL: 052-789-1101 FAX: 052-789-1147 

価格 120,000円 (税込 126,000円) (国内送料込み)

(株)フォーイン 行 ジャル Fax: 0120-0000-73

月  $\Box$ 

社

名

御 住 (送 付 先)

F A X 番 号 TEL番号

E-mail address

(フリガナ) 御担当者氏名

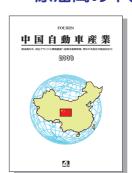
役

信 欄 発刊のご案内

# 中国目動車產業

# 2008

- 原油高の中、自主ブランドと環境重視へ舵取る産業政策、問われる各社の製品対応カー



- ■2010年代に向けた中国自動車産業の成長性と課題を解説
- ■自動車生産240拠点の所在地、製品、能力整備動向を掲載
- ■中国主要30社と世界大手23社の中国事業戦略を分析
- ■乗用車(~2012年)、商用車(~2010年)製品投入計画を収録
- ■中央政府と地方政府の2010年に向けた自動車産業政策
- ■メーカー別車種別モデル別生産・販売・輸出入統計データを充実

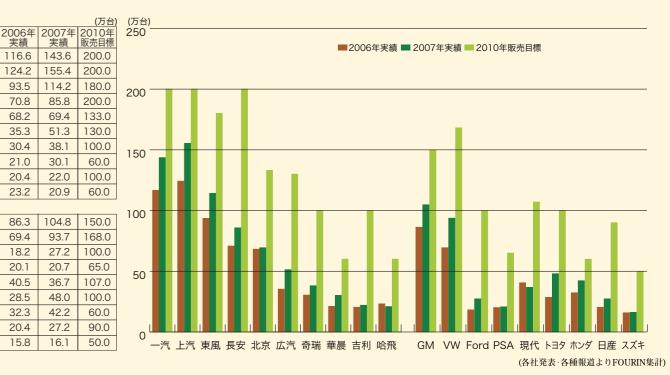
### ■ 体裁: A4版、321頁 ■ 価格: 120,000円(税込126,000円) 国内送料込 ■ 発刊:2008年3月

中国自動車産業は、国内市場が2007年に850万台に拡大したのを受け、生産888万台、輸出63万台、年間2兆元規模に拡大しました。2007年時点の 中国自動車産業は、規模的に世界3位ですが、このままの成長率が続くと2010年には日米を上回って世界最大規模になることが予想されています。 中国市場の成長性はいち早くから注目されているため、内外各社ともに積極的な設備投資が行われています。2010年の販売目標では、中国主要10 社の発表を集計すると1,300万台以上となり、また、世界大手自動車メーカー9社の発表を集計すると800万台以上の販売が計画されています。

一方中国政府は、自動車産業を国民経済の基幹産業として位置づけながらも、自動車産業の成長がもたらすエネルギー供給の不安、社会的公害な どのマイナス要素の抜本的解決策を模索しています。このため、2010年代前半にかけては、年間生産規模1,000万台を臨界点にして中国自動車産業が 環境重視へと大きく方向転換しない限り、次の2,000万台規模への成長が望めません。中国政府は2007年暮れに、新型エネルギー自動車の製造にお ける参入規制を実施、「コア技術の情報開示」を義務付けたことや、2008年には燃料税の実施、2010年には第二段階の燃費規制の実施が予定される ことからも、中長期的なエネルギー戦略を強く意識した自動車産業政策の運営方針が確認されています。

「中国自動車産業2008」は、こうした競争環境の要素変化を捉え、メーカーの事業動向と市場動向の分析から、中国自動車産業・市場を見通す上で 役立つ情報を分かりやすく取りまとめており、中国自動車ビジネスに携わる方々の経営戦略策定などの参考資料としてお役立ていただけるものです。 本案内書をご高覧の上、関係部署ともご相談の上、採用賜りますようお願い申し上げます。

# 中国内外主要各社の2010年販売目標



**FOURIN** 

116.6

124.2

93.5

70.8

68.2

35.3

30.4

21.0

20.4

23.2

86.3

69.4

18.2

20.1

40.5

28.5

32.3

20.4

15.8

東風

北京

奇瑞

華晨

吉利

哈飛

VW

Ford

PSA

現代

トヨタ

ホンダ

日産

スズキ

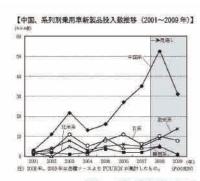
## 1. 環境重視と民族ブランド育成を目指す中国自動車産業 ・・・・・・・・・・ 2 2. 自主ブランド事業、シェア50%に向け問われる技術の自立 ・・・・・・・・10 3. 自動車の生産能力整備、2010年に最大級の2,000万台に ・・・・・・・・12 4. 世界進出時代に問われる現地部品調達能力の強化 ・・・・・・・22 6. 業界再編、製品・拠点の補完を目指す経営統合が加速・・・・・・・・・40 第2章 中国自動車産業の収益動向 ………47 1. 収益構造、問われる新たな収益源創出 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 48 2. 企業別業績、合弁拠点は規模・収益ともにトップレベル・・・・・・・52 3. 上場企業業績、低付加価値製品からの脱却が課題 ・・・・・・・・ 54 4. 自動車産業の資本構造、進む多様化と株式公開・・・・・・ 58 2. 地方政府の [11・五] 自動車産業育成政策 … 74 3. 自動車技術企画、省エネ・低公害と安全性強化へ ・・・・・・・・80 4. 中国知的財産権、課題は特許獲得と模倣品防止 ・・・・・・・82 5. 排ガス規制、燃料品質の確保で足踏み ・・・・・・・・・・・・・84 第4章 中国自動車市場の成長力 …………87 1. 自動車市場、年率15%の伸びが続き1,500万台規模へ ・・・・・・・・ 88 2. 自動車保有、2006年に3,697万台に増大、個人率が63%に ...... 90 3. 乗用車市場、2007年634万台規模に成長 ...... 96

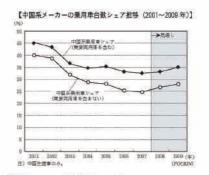
18. 比亜迪汽車、バッテリー技術の相乗効果に期待 ......180

19. 南京汽車、上汽との経営統合で進むMG乗用車プロジェクト ・・・・・・・ 1	82
20. 陕西汽車、専用車事業強化により2010年に12万台を目指す・・・・・・・ 1	.83
21. 力帆汽車、設備投資加速で資金が不足、上場動向が注目・・・・・・・1	84
	85
23. 双環汽車、知財権問題が事業存続に直撃 ・・・・・・・・・・・・・・ 1	86
23. 双環汽車、知財権問題が事業存続に直撃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	87
25. 亜星客車、Daimler撤退を機に不採算事業を見直し	
	89
27. 三環集団、西部市場拡販を遂げ、プラス成長に回復 ・・・・・・・・・・・1	90
28. 成都王牌、2010年能力を10万台へ、稼働率維持が課題 ・・・・・・・・・1	91
	92
	93
第6章 世界自動車メーカーの中国事業新展開	95
1. 再編加速を背景に、外資メーカーは提携戦略を見直し ・・・・・・・・・・・1	96
2. VW/Audi、業績回復の次はブランド競争力を維持・強化・・・・・・・2	00
3. GM、開発能力増強でシェア1位維持を目指す · · · · · · 2	04
4. トヨタ、2010年100万台に向けフルラインで製品強化へ ・・・・・・・ 2	08
5. ホンダ、現地開発力強化で2010年シェア10%獲得へ ・・・・・・・・ 2	
6. 日産、製品構成の見直しが課題 ・・・・・・・・・・・・ 2	218
7. Fordグループ、南京拠点稼働で小型車拡販目指す · · · · · · · 2	20
8. PSA、2010年100万台目指すが、哈飛との合弁が停滞 ······ 2	24
9. 現代/起亜、2010年100万台に向け調達方針を見直し ・・・・・・・・・ 2	26
10. Chryslerは奇瑞と提携へ、福田と交渉が続くDaimler ······· 2	
<ol> <li>三菱自、自社ブランド車投入と販社設立で事業てこ入れへ ・・・・・・・ 2</li> </ol>	.32

12. スズキ、戦略車投入と販売網統合で2010年50万台を狙う
13. BMW、現地生産体制増強により高級車シェアトップを目指す · · · · · · 236
14. Fiat、南京拠点から資本撤退、奇瑞とAlfa Romeo合弁生産へ ········ 238
15. 新興国自動車メーカーの中国参入、製品力強化が課題 ・・・・・・・・・ 240
16. Volvo - 日産デ - R.V.I.、グループで展開強化へ · · · · · · · · · · · 242
17. いすゞ、エンジンの内製化で、2010年度6万台販売目指す ・・・・・・・ 244
18. MAN、技術供与とともにMANブランド合弁生産も強化 · · · · · · 245
19. lveco、上汽との提携を軸に内需取り込みと輸出を推進 ・・・・・・ 247
20. 日野、広汽と合弁設立で大型トラック巻き返しへ ・・・・・・・・ 248
21. 三菱ふそう、Daimler拠点で軽型トラック生産も検討 ····· 249
第7章 中国自動車周辺業界の事業展開251
1. 特装車業界、2010年90万台に向けて見直される規制 ・・・・・・・・ 252
2. 二輪車業界、製品の差別化・高付加価値化が推進 ・・・・・・・・ 258
3. 低速自動車、規制見直しで軽型トラックへ買い替えが加速 ・・・・・・・ 266
付 録269
1. 自動車産業政策運営政府部門 · · · · · · 270
2. 自動車産業関連行政規制一覧 · · · · · · 274
3. 車種別生産販売統計年次推移 (1998~2007年) · · · · · · 278
4. 車種別生産販売統計月次推移 (1998年1月~2007年12月) · · · · · · 278
5. モデル別乗用車生産販売年次推移 (1998~2007年)
6. メーカー別車種別生産販売年次推移 (1998~2007年) ・・・・・・・・ 294
7. 自動車製品輸出入統計 (2001~2007年)

この他の見本ページも弊社ホームページでご覧頂けます





## 【中国、系列別乗用車新製品投入数・中国系メーカーの乗用車市場シェア】

		2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
新規投入製品數	中国茶	3	- 11	22	13	16	27	35	53	31
	日茶	2	3	11	5	8	11	6	10	8
	欧州系	2	- 4	.8	3	5	6	5	9	14
	北米系	2	0	.5	1	9	- 4	- 4	5	1
	韓国系	1	2	1	2	4	2	2	5	1
中国系メーカー の台数シェア	栗用車+栗貨両用車	45.4%	43,4%	36,4%	34.6%	35.4%	33.2%	32.6%	33.1%	35.0%
	乗用車のみ	40.1%	38.8%	31.8%	28.7%	28.1%	25.3%	24.7%	26.7%	28.09
										C00.00 0000

## 【中国自動車メーカーの対外技術提携関係】

メーカー	ブランド			外からの技術支援		プロジェクト		笄脂刀*	
>-2-	3321	デザイン	製造工程	エンジン	基幹部品	20212 k	2007年	2010年	2015年
奇瑞	奇情 CHERY	Bertone, Pininfarina	Lotus	Ricardo (開発支援)、 AVL (開発支援)、 三菱自 (製品供与)	Siemens VDO (カー オーディオ、カーエレ クトロニクス)、TRW (走行制御システム)。 Delphi (EMS)、JCI (内級システム)	B31, B22, B33, S-16, M-11	S4/P4	\$4/P5	S5/P5
	+40	ti	73	1 1 11 11		171-1-80			

# 中国自動車産業の成長性と課題を分析

84/P	S3/P4	S2/P2	和度 HQ300	ックルースド版ホハナ サブライヤーと白弁事 業を持つ	マツダ(製品供与)	トヨタ(合弁生産)	Giugiaro	HONGQI	一門標準	
85/P6	\$3/P4	\$2/P2	荣威 750、 W2	Dolphi, Visteon, TRW など世界大手サブライ ヤー台弁事業を複数時 コ	MG Rover (KV6)	Ricardo	Ricardo 2020 (元 MG Rover 技術部)	荣威 ROEWE	上汽汽車	
	-	168 161 I	CM8, CV6,		Carrio Carrio Carrio C		EDAG.	長安		
S5/Pf	S4/P4	S3/P4	CV7, CV8, CV9	- F	PEV(開発支援)	=	Pininfarina	印件	長安汽車	
n.s.	0.6	\$2/P2	C926	小糸 (ランプ)。 JCI (シート)。 Vistaon (メーター)	現代自エンジンをベー スに開発	¥	Pininfarina	JAC	江淮汽車	
B.6.	0.8	S2/P2	F3. F6	(E)	東安三美 (4G18供与)	金型内製	FÆ1	BYD	BAN	
S4/P4	\$3/P3	\$1-2/P2	中華導軸。 發達、FRV	JCI (内装システム)	FEV(開発支援)	Latus。 BMW(合弁生庫 拠点)	Giugiaro	華真 BRILLIA NOE	華最汽車	
n.s.	n.a.	S1-2/P2	路宝、賽約3、 賽約5	91	東安三菱(合弁生産)	Lotus Engineering (************************************	Pininfarina	哈飛 HA PRI	哈飛汽車	
			STEY.	福美来 2代		TRITEC (MEHH5),	マツダ	995251	海馬	in the Court
ns.	п.я.	\$2/P2	海馬3	(#)	東安三妻(製品供与)	《2006年まで委託 相立》	IDEA	HAIMA	<b>毎</b> 馬汽車	

## 2. 上海汽車、南京汽車の吸収合併で商用車事業基盤を強化、 乗用車経営資源の再配置が課題に

上海汽車はこれまで VW、GM との合弁を中心 に乗用車事業を進め、中国最大手の自動車メーカー への成長を遂げた。同社は2010年までに生産合数 ベースで世界自動車メーカー上位 10 位入りを目指 し、中長期事業戦略の一環として上海汽車は独自プ ランド乗用車事業を進めると共に、Iveco との合弁 を通じ重型トラック事業強化に取り組んでいる。ま た、世界自動車大手への成長に向けて、上海汽車は

を傘下に収めることになり、乗用車において同じ技 術ソースとなる Roewe 乗用車プロジェクトと南京 汽車の MG プロジェクトはプランドや技術上の相 乗効果が見込まれる。また、南京汽車の小型商用車 (躍進と Iveco ブランド) 事業は上海汽車にとって 軽型トラック・小型バスの補完が期待できる。更に、 南京汽車、上海汽車と Iveco の間では商用車事業の 提携が一層緊密化されると考えられる。

自立化に弾みを付けた。さらに重型トラック事業へ の進出に向けて 2006 年から Iveco との合弁を進め た。2007年12月、グループの資産拡張や商用車事 業基盤の強化に向けて2001年から進められてきた 南京汽車との統合交渉が、ついに決着した。2007年 12月、上海汽車は躍進集団と南京汽車との統合に ついて契約に調印、2008年6月までに吸収合併を 完了する予定である。それに伴い、上海汽車は南京 汽車の完成車事業資産(海外プロジェクトを含む)

上海汽車は旧MG Roy から東京 なる伊東町 の内京 Piat のお宮資産車場、Roewe・名景プロジェ 術をベースに開発した独**外名 日本 以上 1** 大会が一連の課題として 750」を 2006 年 10 月に7 人名 2006 日 2006 品と生産計画の配置を含めて、今後の調整が注目さ

> 中長期的に上海汽車は2010年までに完成車200 万台の販売を目標に盛り込んでおり、南京汽車の統 合は目標の実現への第一歩となるだけでなく、上海 汽車の世界自動車上位10位への跳躍台となると見 られる。今後は上海汽車にとって経営資源の最適配 置を進めると共に、事業のグローバル化に向けた経 営戦略の策定が課題となる。

## 【上汽集団、中長期事業計画・目標と経営戦略】

ш	TT JPENNEN LINE T				
	<ul> <li>グループ全体目標: 2010 年までに完成車組取 200 万合。</li> </ul>	、世界上位自動車×一市一 ID 社入りを目指す。	うち独自プランド車	(五菱乘貨貨用車,	Ross
	東用車、上汽 Iveco 紅岩を含む)60-万台。				
П	· 事兼戦略:				

記成車:既存の合弁事業を進めると共に、2005年以降に取用した Bover と双輪目の技術資源を軸に独目ブランド事業を展開。中国市場におけるリ ド地位を固める方針である。Ivecoとの合弁を通じて重型トラック事業に参入し、さらに商資汽車の収得により乗・適用車の独自ブランド事業の語 ろを確元する。

ある権元する。 初品:完成率と共に新品事業の拡大にも取り組む。新品はグループ内の生産拠点に終入するほか、国内自動車メーカーと海外自動車メーカール 販送開新を進める方針で、独自プランド車業推進と共に富許新品の自主開発を重点開機に取り上げる。 伊安開発:中・奏・奪三田及む利益(上海内は投資センター、上内内車海外(配利)研究開発センター、上内以韓自動車研究開発センター)の連 操体制の下で、プラットフォール技術をよ存じ、国内外市場前で表現を開発していた。 ・匿宮方針:今後3~15年は目動車事業の拡大に馬舎、自主素新とダローバル化に主張を置く。独自ブランド事業の推進を進むると同時に、海外資

原(双龍日、南京汽車の海外工場)を告かし、自動車事業のクローベル化に取り組む方針である。また、南京汽車の統合に伴い、乗用車径管資産 の再配置が課題となる。

## ■経営目様: ・グループの4つの利益改長点:

他自プランド車(2008年までに収益獲得を目指す)、双龍目動車の毎 外事業、上海 GM と上海 VW、南月卓事業

3.5萬、上海(TM と上海VW、南田県男高 ・18日 デランド海の生産日報: - 2007年5万台-2010年90万台、アループ全体生産規模の約30% を占める。うち、巨王プランド東用車30万台、エンジン30万志。 - 2000年をでは、Ricardo 2017 工程院の中定期の力(エンジン37万态。 人、うち中国出身50人、股州出身150人)と共同で、5つのフラン トフォームで 30 仕様草を開発する計画。大型車、中級車、コンパ 7 ト中載車、小型車と RV などが含まれ、価格帯は 6.5 万元~30

イブリッド単の生産日間: 2010年年生産環境5万台。うち、上海VW Touren ベース2万台、 上海 GM LeCrosse ベース3万台、自主ブランド Rooms パイブリッ ド車1万台。 ・周用車の製取網機:2010年に重型トラック(土汽 Iveco 記岩)4.5 万

## ■ブランド戦略 合弁ブランドと自主ブランドとの共同発展

・合弁プランド (2010年140万台) - 上海 VW (VW、Skods)、上海 GM (Cherrolet, Buick, Cat 上門 GM 五英 (Spark) を軸に合弁プラッド事業を推進。 ・独自プランド車 (2010年 80 万会)

・短日ブランド車(2000年 80 万台) 無用車で立義、後変質用車。、Roswa、商用車で中重型トラック (記者) の虹板に取り組む。 ・南皮汽車の質似に伴い、両用製産が拡大、軽型両用車において確 カブランドが振みる相互。 ■次世代エネルギー幕発展計画

3010年までにハイブリット兼用車の事業化を目指す(2007年10月。

### 組度元董事長の発表)。 ンドと台弁ブランドを含むせて、ハイブリッド乗用車1万

台の生産体制を整備する計画。 大型パスに次世代エネルギー技術を導入し、産業化を実現する計画。

(上汽業団広報資料、各種販道より作成)

## 4. トヨタ、2010年100万台販売に向け、 生産体制整備とフルラインで製品強化へ

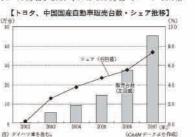
▶ヨタは現地生産体制を拡充した 2004 年以降、

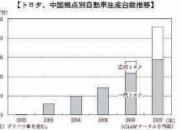
当)の販売達成につなげたい考えである。一方で、

## 中国事業の強化を加速しており、毎年前年比5割以 急速な事業立ち上げを進めていることから、品質の 以世界主要乗用車16社员商用車才社會

計画するほか、Yaris の追加に上りコンパクトカー から高級車までフルラインでの拡販を目指し、2008 年に70万台、2010年には100万台(シェア10%相

事業を拡大、他社との格差解消と長期的な中国事業 目標達成に向けて基盤づくりを進めてきた。製品面





VCS 両上 ・2007年3月期、全融子会社トヨタファイナンシャルサービス は北京から広州・天津・原川・上海まで営業地域を拡大した。 2008年3月末までに広東省の他地域や江鉄省、浙江省へ の出展も計画しており、トヨタ車取り扱い市場の 60%以 上をカバーする体制を整備したい考え。 ・生産から販売、整備、販客ケアまでを鉄括する顧客管理シス

テム・e-CRB を広州トヨタと Lexus の全販売店舗で全面導

## 【トヨタ/Lexus/ダイハツ/富士重、中国販売戦略】

《トヨタラン 収施元目線(輸入車合む、トヨタ発表値) ・2010 年目集: 100万台 (シェア 10%) ・2006 年計画: 前年比48.68%ラ20万台 ソArrisなど新製品優入をテコに前年比50%増を目指す。 ラち広州トヨタの販売目標は21万台 (Camry 17.5万台、 ソロロの 18.75分)

2007年実績:前年比55.8%道の48万台
 年初の計画は40万台以上であったが、上朝の販売好調から2007年7月に43万台に、同年11月に48万台に上方参

ち広州トヨタの販売は目標台数の17万合(輸入車合主 2007年に42万台を販売したホングを上回り、日菜メーカー トップに淳上。

## ▽販売戦略

プロプロロ 販売機の圧和に加え、小型車から中大型車まで製品ラインアップを換化することで、先行する欧米勢を追い上げる考え。 - 2005 年に Lexua 販売店棚の整備や Pringの製地生産を開始、2006 年以降の Centry や新型 Corolla を始めたした世 界量版車の投入、2008年には小型車 Yaris を生産開始する。

界量板率の投入、2008 年には小型車 Yaria を生産開始する。 Maris X、Canny 等高級モデルの育成に注力し、品質・ブ コンドのイメーツ作しを確信する方針。 モデル別に2006 年に告投入額を見ると、Maris X が 24.8%、 Canny が 21.9%、Corolla が 12.1%、Crown が 7%と、 上位クラス帯に最大のウェートを置いていることが分かる。 2007 年の中国における社会及入額はメンダの約 26.6% ・中国で展開する5.3%列の販売ティネルの総合結論数を 2007 年 目前表の 2007 年かりの に始いた 2007 年まりの に強い ボナス 3.4% 6月時点の400店舗から、2007年末に500店舗に拡大する計 画。長期的に 1,000 店舗(一汽トヨタ 600 店舗、広州トヨタ 300 店舗、Lexus 100 店舗)に拡大したい考え。

## 中国を世界重要市場に位置づけ、2016年までに中国輸入高 殺車最大手を目指す。 2007年計画:2万台

2006 年末請:前年比倍増の12万台 

▽生産計画 ・中期的に広州トヨタでの生産可能性あり。

▽阪売練 ▽販売機 ・販売店舗数を 2007 年 12 月時点の 23 店舗から 2008 年初に ・販売店舗、2019 年末に 100 店舗に拡大する計画。 <ダイハン> ・2007 年 1 万台、中長期的に 3 万台を目指す。 ・2007 年 6 月、一代古林で森精 (Xenia) の生産を開始。 ・2007 年 0 販売は 2,126 台と板送。

() = / 広韓資料、各種報道より作成)